

報道関係者各位

県民へのクマに対する注意喚起について

本日6月20日（木）午前6時30分頃、蔵王温泉登山道（祓川コース）姥神・菖蒲沼ゲレンデ付近にて、単独で登山中の方がクマに襲われる事案が発生しました。県内では今年2例目の人身被害となります。

これからの時期は登山や行楽などで山を訪れる方が多くなりますが、例年、県内での人身被害は山で多く発生しております。また、今年は市街地での目撃件数が多くなっており、今後も人身被害が発生するおそれがありますので、以下を参考に、あらためて県民に注意を喚起して下さるよう御協力をお願いいたします。

記

○ クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。音の出る物で、クマに自分の存在を知らせましょう。また、複数で行動するようにしましょう。

クマにとっては、人は侵入者だということを忘れずに、周囲に十分注意してください。また、クマも餌に夢中になって、人の接近に気がつかない場合があります。山や林に入るときは、ラジオやクマ避けの鈴、笛など、音の出る物で、自分の存在をクマに知らせましょう。また、山中では単独ではなく複数で行動するようにしましょう。

○ クマの出没情報があったところには近づかないでください。

県ホームページ「山形県クマに関する情報」－「クマ目撃マップ」に出没情報を掲載しています。（[山形クマ](#)で検索）

○ 子連れのカマに注意してください。

子グマを見たら、近くに母グマがいると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

○ 万一、クマに出会ったら、落ち着いてゆっくりとその場から離れてください。

（市販されているクマ撃退用スプレーの使用も有効です。ただし、使用するに当たっては注意事項をよく御確認ください。）

○ 餌となる取り残しの果実や家の周囲のハチの巣を撤去してください。

また、餌付けとなる食品や生ゴミを放置しないでください。

○ 市街地周辺の藪などは刈払うようにしてください。

（参考）

山形県内におけるクマによる人身被害 令和5年：5件

令和6年：2件（この度の人身被害含む）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



（担当）

環境エネルギー部みどり自然課

課長補佐(野生生物対策担当) 佐藤

Tel: 023-630-3042

〔報道監〕

環境エネルギー部次長

遠藤

春夏は出没増加

クマに注意!



山菜採り

タケノコ採り

農作業

溪流釣り

森林施業

① クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。周囲に十分注意してください。

備えは万全に

② 音の出る物で、クマに自分の存在を知らせましょう。

山や林に入るときや田畑に出るときは、ラジオやクマ鈴、笛など、音の出る物で、人の存在をクマに知らせましょう。また、複数で行動するようにしましょう。



ラジオ



笛

③ 子連れのクマに注意してください。

子グマを見たら、近くで母グマが警戒していると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

④ 万一、クマに出合ったら、背を向けずに、ゆっくり後退してください。(クマ撃退スプレーの使用も有効です。)



クマ撃退スプレー



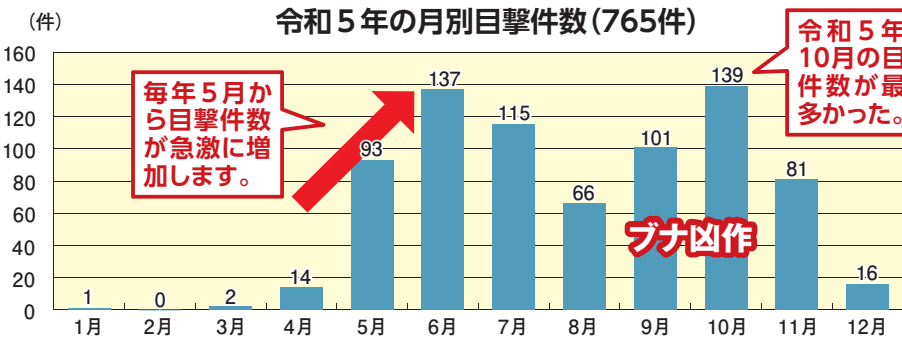
クマ鈴

⑤ 生ゴミなどを放置しないでください。

人にとってはゴミや不要な物でもクマにとっては、食べ物です。

⑥ 市街地周辺のやぶなどは刈り払いましょう。

クマは河川敷などの緑地に隠れて移動します。刈り払いでクマの市街地出没を防ぎましょう。



【5月～7月の人身被害30人(県内)】
(S52～R5)

- 山菜採り 20人
- タケノコ・笹採り 4人(この内1人死亡)
- 溪流釣り 1人
- 田を見回り中 1人
- 森林施業中 1人
- 自宅へ侵入 1人
- 散歩・ランニング中 1人



【クマに関する情報】

山形クマ

検索



山形県環境エネルギー部みどり自然課

☎023-630-3042

リサイクル適性(A)
その印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。